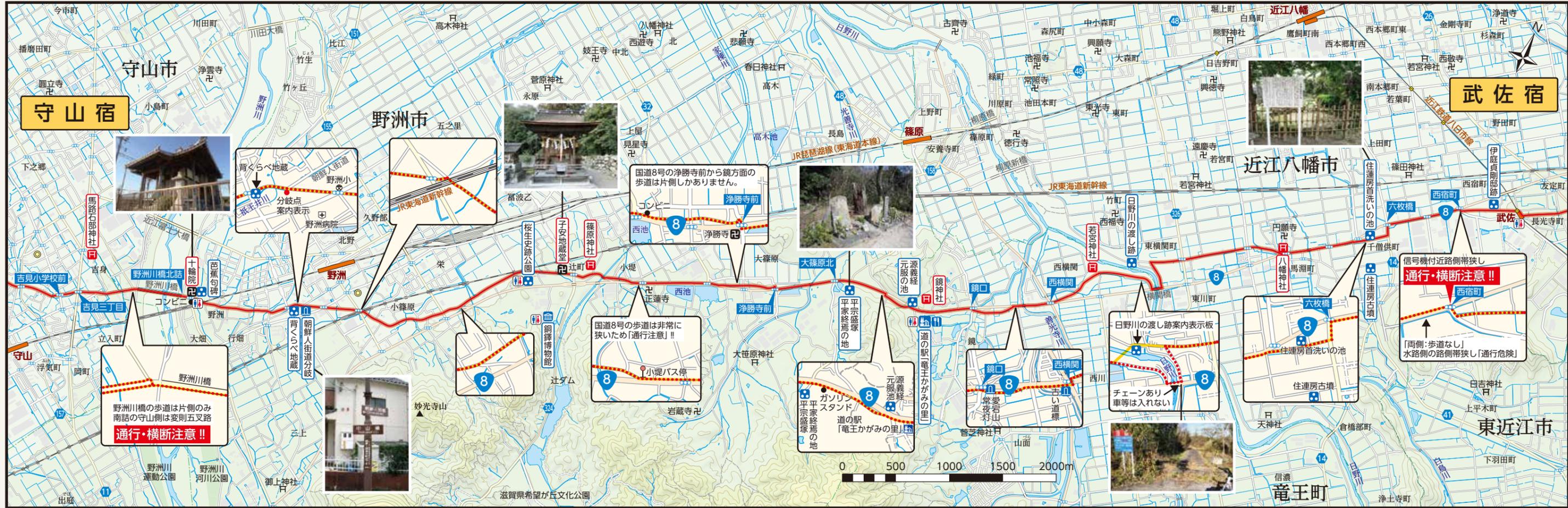


守山宿から日本一大きな銅鐸の郷・野洲を通り、源平ゆかりの鏡の里、そして武佐へ

守山宿から武佐宿 約14km

守山宿を出発し、日本一大きな銅鐸が発見された野洲を経て中世東山道の時代から栄え、源義経が元服した地として知られる鏡の里へ。住友財閥を育てた伊庭貞剛邸跡などが残る66番目の宿場町、武佐へ。



朝鮮人街道分岐

野洲市行畑は、旧名を行合【ゆきあい】村といいます。二つの街道(中山道と朝鮮人街道)が行き合ふ地、つまり分岐点という意味です。分岐点付近から朝鮮人街道沿を流れる川は、水利の悪さを平清盛に訴え、造成を実現させた「祇王」の名がつけられ、「祇王井川」と呼ばれています。



桜生史跡公園

国史跡大岩山古墳群のうち、6世紀を中心とする甲山古墳、円山古墳、天王山古墳があります。甲山、円山古墳では、横穴式石室の内部に組合式石棺が置かれ、内部を見学することができます。

- 開園時間: 9:00~17:00(入館16:30まで)
- 入館料: 無料 ●休み: 月(祝日の場合は翌日)、年末年始



鏡神社・元服の池

源氏復興を決意し、奥州藤原氏のもとへと向かう途中、源義経(牛若丸)は鏡の里で元服をしたと伝えられています。その時、牛若丸16歳、烏帽子名を源九郎義経として、天日槍新羅大明神を祀る鏡神社へ参拝し、源氏の復興と武運長久を祈願しました。



竜王・鏡の里

中世、平安時代末期から鎌倉・室町時代に東山道の宿場町として栄えました。江戸時代に入り、徳川幕府の五街道の制定により、中山道が整備されて「守山宿」・「武佐宿」ができ、指定から外れて間の宿となりました。しかし、本陣、脇本陣も置かれ、特に紀州候の定宿としてつかわれ、皇族、将軍家の御名代をはじめ、旅人の休憩の宿場町としての役目を果たしてきました。また、源義経元服の地として知られています。



武佐宿

中山道66番目の宿場で江戸時代までは「牟佐」「身狭」の字を使っていました。伊勢に向かう「八風街道」の起点であり、また旧八幡町内に分岐する交通の要として賑わいました。町並みは8町24間(900m)、本陣、脇本陣各1、問屋2、旅籠23軒、人口537人、総家数183戸があり、人夫50人、馬50頭が常設され、最も盛んな頃には3千人余の人の往来がありました。



伊庭貞剛邸跡

伊庭貞剛は、明治期の実業家で、財閥・住友の第二代総理事。別子銅山煙害事件(新居浜製錬所の煙突から出る亜硫酸ガスによる周辺への煙害問題)の紛争解決にあたり、環境復元に心血を注ぎ、企業の社会的責任の先駆者として知られています。今は、屋敷跡に楠の巨木が残されています。



背くらべ地蔵

野洲市行畑に建つ大小2体の地蔵は鎌倉時代の石仏で「背くらべ地蔵」と呼ばれ大切にされています。昔、乳幼児がよく亡くなったため、子を持つ親たちは、小さなほうの地蔵と同じくらいまで育てば、あとは良く育つと、背をくらべさせるようになったことからこの名前がつけました。毎年7月24日には、行畑地蔵まつりがおこなわれ、たくさんの露店が街道沿いならびます。



平宗盛胴塚(平家終焉の地)

次々と武勇を發揮した源義経は、平清盛の子・平宗盛父子を捕虜として鎌倉に向かいました。しかし、兄の頼朝の怒りにふれ仕方なく京都に引き返す途中、「鏡」を通り過ぎたあたりで、平宗盛父子を斬罪しました。この地には宗盛とその子清宗の胴塚と首を洗った「首洗いの池」があります。父子があまりにも哀れで蛙が鳴かなくなったことから「蛙不鳴池(かわずなかずのいけ)」とも呼ばれています。



日野川の渡し跡

歌川広重『木曾海道六拾九次』に描かれた武佐は、日野川を渡る旅人の風景でした。水位の低い時は、2艘の船をつなぎ船橋とし、旅人はこれを渡って行きました。渡し跡には案内板が建っています。



住蓮坊首洗いの池・住蓮坊古墳

県史跡千僧供古墳群のうちの一つ。古墳時代中期の直径53メートルの大型円墳。周濠がめぐらされ、周濠跡からは県下最古式に属する須恵器が出土しています。鎌倉時代、住蓮坊と安楽坊が後鳥羽上皇の怒りにふれて死罪にされました。安楽坊は京都六条河原にて、住蓮坊は馬淵の地で斬首。この時、住蓮坊はこの古墳に埋葬されました。江戸時代に地元の人たちの手により安楽坊の霊も一緒に祀って、古墳上に追善供養のための塚を建て、首洗池を整備しました。これが住蓮坊古墳と呼ばれるゆえんです。この時、住蓮坊を斬首した刀は、延宝5年(1677)4月6日に栗田郡大宝神社(現栗東市)の祭礼用御神刀として用いられるようになったことが、同社の古文書に記されています。



牟佐神社

神社前は、旧高札場跡で、かつて大きな黒門が建っていた宿場の東の入口になります。境内には樹齢300年以上、高さ30mにもおよぶケヤキの巨木がたっています。

